

この会報は、共同募金の配分を受けて発行されています。



YOUR

令和5年

一般社団法人 さいたま市手をつなぐ育成会 第90号

若いうちに 準備しておきたいこと

私たち知的に障害のある子を持つ親として長年活動を続けてきた中で後悔も含めて色々感じることもあります。

小さいころ、障害に甘えて特別扱いをしたり基本的なルールさえも許してしまう場面をよく見かけます。

障害があっても出来ることは沢山あるはずですが、

出来ないことを前提に物事を考えるのではなく挑戦してみることの大切さは、出来た時の満足感と本人のその後の自信にも繋がります。

勿論、本人の力以上の無理な挑戦は気を付けないと逆効果になることも有りますので見極めが必要です。

又、親として出来る限り早く親亡き後の準備をしておく事、直前になっての準備は出来ないですし、早いほど余裕をもって冷静に準備ができます。

都道府県が行っている心身障害者扶養共済制度（親亡き後月に一口二万円二口まで入れます）や育成会の信託保険（親の保険金や財産を本人のために充て財産管理を本人のらう）等、生活面やメンタル面で社会に出た時の適応性を備えておくことの大切さを強く感じます。

どんなに重い障害を持っている方でもその人にとって一つでも多くのことが出来るようになることが大きな進歩で喜びもひとしおです。

挑戦しない事には喜びも褒めることも有りません。愛情をもって挑戦しましょう。

加藤 シゲヨ



まちかど雑巡り

大久保 陽子

三月五日、岩槻まちかど雑巡りに参加してきました。人形博物館を始め、県内唯一残存の藩校、遷喬館や愛宕神社を訪問して、色々な雑人形を観て回りました。特に、愛宕神社の大雛段飾りは圧巻です。朝は少し肌寒かったですが、日中は日差しも出てポカポカ陽気に。河津桜が見頃で、早めのお花見気分も味わえました。

岩槻は、歴史文化が深く、観光気分が味わえます。

限定メニューのあるお店もあり、五感で春を満喫しました。

親子でとても楽しめました。



河津桜の前で記念撮影！

● 第3回おしゃべりサロンのご報告 ●

総務 高橋 純子

1月27日、岩槻駅東口コミュニティーセンターにて、第3回おしゃべりサロンを開催しました。参加者は、会員13名・会員外4名の計17名で、世代別に2グループに分かれ交流しました。学齢期のグループでは、学校選択や卒業後の進路選択について、どのような選択肢があり、本人の意思・希望をどう支援すべきか悩まれている親御さんが多く、経験者が体験談などをお話しました。成人期のグループでは、日々の困りごとから、福祉サービスの問題点や親なきあとの課題など、それぞれの方の現状やお悩みを共有しました。

〈アンケートより〉○本音を言える場は大切なので、今後もぜひ続けていただきたいです。
○いろいろな体験談やアドバイスが大変参考になりました。また参加させてください。

● 第4回おしゃべりサロンのご報告 ●

3月2日、RaiBoc Hall 市民会館おのみやにて、第4回おしゃべりサロンを開催しました。参加者は、会員14名・会員外10名の計24名で、4グループに分かれ交流しました。入学前の方のグループでは、診断を受けたばかりの親御さんの不安や孤独感に寄り添いました。学齢期・青年期のグループでは、かかりつけ医の必要性や、余暇活動の情報共有、思春期ならではの課題も共有しました。成人期のグループでは、家族関係についてのお悩みや、グループホームや成年後見制度についての情報共有をしました。

〈アンケートより〉○とても参考になりました。色々な目線で今後の事を考えられそうです。
○普段は話することができない悩みを聞いてもらえて、うれしかったです。

● おしゃべりサロンの振り返りと今後について ●

育成会の新たな活動としてスタートした「おしゃべりサロン」は、全4回で延べ39名の方にご参加いただきました。お知らせのチラシは、会員さんだけでなく、SNS、支援学級、支援学校各区支援課等で広く配布させていただき、育成会の周知にもつながりました。

幅広い世代の方のお悩みは多岐にわたり、理事も沢山勉強させていただきました。お仕事を休んで参加して下さった方や、複数回参加していただいた方もいて、活動意義を感じております。

令和5年度も引き続き「ひとりぼっちにさせない」をモットーに、おしゃべりサロンを継続して開催していきますので、みなさまもお気軽にご参加ください。お待ちしております。

ヘルパーステーション ほっと

元浦和育成会が開設した事業所です。永年障がい者の団体として活動を続けた経験を踏まえ、利用者の立場に立った心のこもった暖かいサポートを目指しております。



★**居宅介護**（ホームヘルプ）
入浴・排泄・食事の介護など

★**同行援護**
視覚障がい者の支援

★**ヘルパー募集中**

★**行動援護**
行動上著しい困難を有する知的障がい者（児）
精神障がい者の外出の介護・危険回避のための援護

★**移動支援**（ガイドヘルプ）
余暇活動など社会参加のための外出が安全かつ円滑に出来るよう、移動についての支援



 一般社団法人 飛躍
ヘルパーステーション ほっと
さいたま市大宮区天沼町2-813
☎ 048-649-5703

権利擁護 (P & A)

避難所講座について
岩槻本丸公民館講座

黒澤 篤子

今年度の岩槻本丸公民館の避難所講座を東日本大震災の日に近い3月7日に開催しました。

避難までに考えておく事から話しを進め、自宅避難も必要な事、日頃から準備を心がける事も大切になると参加者と一緒に確認しました。

さいたま市のHPから河川のライブカメラを見て頂き情報の取り方を体験して頂きました。障害のある人と住民全てが同じ避難所を使う事を再確認頂き主な障害を通して配慮が必要になる事をお伝えしました。

参加者から地域で障害のある人がいると思うが要支援者に登録が無い事が心配だとの声がありました。地元の方が知っている事が大切になる事をお話してご理解を頂きました。

災害時は隣近所に声掛けあって全員が助かる事を考えて頂きたいとお話して締め括りました。

権利擁護 (P & A)

日進北小

まち歩き学習会と発表会

山口 明子

十一月のふれあい学習に続いて、二月二日にまち歩き学習、二月二十八日に学習発表会が行なわれました。

まち歩き学習は、通学路を一緒に歩き、障害者に危険な箇所などを考えます。そして今まで学んだことをグループごとに学習発表会で披露してくれました。他の障害者団体と違い、知的障害は、本人が参加できないのと体験が出来ないので、子供たちにとっては、難しかったと思います。まち歩き学習で知的障害について伝える方法は、これからも考えていきたいです。発表会は、以前は障害別の発表だったので、今回は障害全体についての発表になり、知的障害についての内容が少なかったのは残念でした。ただ、最後の閉会式で代表児童の一人が障害者に対する気持ちの大切さと、思うだけでなく行動することの大切さを話し、印象に残りました。障害者に温かいまなざしが注がれる社会になってほしいと思います。

表彰

一般社団法人

全国手をつなぐ育成会連合会

◆令和4年度会長表彰状

副代表理事 阿久津 奉子



◆令和4年度会長感謝状

理事 配島 和子



三月十七日に、令和三年度表彰対象者四名、令和四年度表彰対象者三名のお祝い会を行いました。コロナ禍でなかなか集まったのでお祝いできませんでした。今回ささやかですが、開くことができました。おめでとうございます！

Otsuka 大塚食品

原材料は、雪、雨、風、
そして、シャスタという大地の力。
人間だけでは決してつくりえないものがある。

Power of Nature

ここ、シャスタの山から。

第15回 定期総会 開催のご案内

- 日時 令和5年 6月27日(火) 午前10:30～
- 場所 埼玉県障害者交流センター2F(研修室1・2) *Zoomでも参加可能です
- 申し込み方法



Zoomでご参加を希望の方は、右記QRコードまたはメールでお申し込みください。
招待メールをお送りします。

E-mail: sc-your@bz03.plala.or.jp
(申込期限: 6月20日)

たくさんの方にご出席をいただきご意見等をお受けしたいと思います。

発行 一般社団法人
さいたま市をつなぐ育成会
代表理事 加藤 シゲヨ
〒330-0801
さいたま市大宮区土手町 一丁目三三
大宮ふれあい福祉センター内
TEL/FAX 〇四八-六五四-七七六三

E-mail
sc-your@bz03.plala.or.jp
ホームページ
<http://www.saitamashi-ikuseikai.org/>
フェイスブック
[@saitamashi-tewetsumagakuiseikai](https://www.facebook.com/saitamashi-tewetsumagakuiseikai)
インスタグラム
[@ikuseikai2022](https://www.instagram.com/ikuseikai2022)

編集 広報委員会
定価 五十円(会費に含む)

★編集後記★
三月十三日、ついにマスクを外して少し軽やかな気持ちになる日がきました。
混んでいる車内などまだ制限が残るところはありますが、高齢者の家族へ感染させないなど個人で配慮する事は怠らないようにしなければと思います。
いつもバッグにはマスクを!

計報
加藤 武 様(桜区)
綿貫 千恵子 様(桜区)
新井 光男 様(中央区)
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

未来あんしんサポート **NEW** 2022年1月、「定期支払金付プラン」が新登場 「つかえる楽しみ」と「のこせる安心」をお届けします

[知的障がい]や[自閉症]等の障がいのあるお子さまのために「**親なきあと**」をサポートするご提案です

未来あんしんサポート

- 障がいのあるこの子が お金の管理をできるか心配...
- この子が経済的に 困らないようにしてあげたい。
- 自分がまだ元気なうちは、毎年うけとる お金を使ってこの子と一緒に楽しみたい

「生命保険」と「信託」が「親御さまの想い」を 確実に未来へのこします

「未来あんしんサポート」は、(株)ジェイアイシーがご提案する生命保険と生命保険信託をあわせたサービスの総称です。

お問合せや資料のご請求はこちらへ
未来あんしんサポートに関するお問い合わせ
ジェイアイシー生命保険信託相談ダイヤル
☎0120-580-503 通話料 無料
受付時間:月～金(祝日・年末年始を除く)9:00～17:00

●未来あんしんサポートについて、詳細は「未来あんしんサポート リーフレット」をご覧ください。●株ジェイアイシーは「個人情報保護方針」と題するプライバシーポリシーを策定し、これに基づいて個人情報の取扱いを行っています。その内容は、株ジェイアイシーのホームページにてご確認ください。●当資料は、2022年1月1日時点のお取扱い内容に基づき作成しています。

[生命保険募集代理店・信託契約代理店]
JIC 株式会社ジェイアイシー
本社 〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビル2号館2F
ホームページ www.jicgroup.co.jp
[所属信託会社]
みずほ信託銀行株式会社
[生命保険引受保険会社]
第一フロンティア生命保険株式会社
MAS-A-220103

一般社団法人 全国手をつなぐ育成会連合会の皆様へ

手をつなぐがん保険

(団体総合生活保険)

障がいのある方とご家族をワイドにお守りする保険です



特長1 代理手続き代理告知が可能
特長2 告知対象疾患の緩和
特長3 成年後見費用を補償

障がいのある方向けプラン
障がいのある方向けプラン
障がいのある方のご家族向けプラン

この広告は、「手をつなぐがん保険」の概要をご紹介したものです。ご加入にあたっては、必ず「パンフレット兼重要事項説明書」をよくお読みください。「手をつなぐがん保険」は団体総合生活保険の愛称です。ご不明な点等がある場合は、代理店までお問い合わせください。

手をつなぐがん保険に興味を持たれた方は下記お問い合わせ先(取扱代理店)に資料請求をお待ちしております。

[お問い合わせ先取扱代理店]
ぜんち共済株式会社
〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-5
九段北325ビル4階
0120-322-150
TEL:03-6910-0850 FAX:03-6910-0851
URL: <http://www.z-kyosai.com/>
MAIL: gan@z-kyosai.com
(営業時間 平日9:00～17:00(土日・祝日・年末年始を除く))

東京海上日動火災保険株式会社
公務第一東京公務課
〒102-8014 東京都千代田区三番町6-4
TEL:03-3515-4126(営業時間:平日9:00～17:00)